

初めての方へ

1. 万全なネット棋院着手の会得

初めてのの方は、必ず**練習基盤**で万全なネット棋院着手を会得してください。

ネット棋院の着手は理想的なシングルクリックですが、通常のクリックでは着手できません。

ダウンマウス時に、**一瞬待ってからアップマウスで着手**になります。

これは、対局に致命的な「着手ズレ／意図しない突発的な着手トラブル」等の着手トラブルを防御する対策が講じられているからです。

このダウンマウス時のタイムラグ時間は、**着手石の透明度変化**で一目瞭然です。

着点へのダウンマウスで透明度の高い希薄な石が表示され、そのまま一瞬待つと**パッと透明度の低い明確な石に変わり**、その後にアップマウスで着手決定になり、通常の不透明な石が表示されます。

また、**ダウンマウス時に考慮時間が停止され、3秒間の猶予時間が設けられている**ことから、残り1秒でも慌てることなく安心して着手が出来ます。

この猶予時間により、**ドラッグで周囲8点への隣接点に移動が可能**であり、更に以遠ドラッグで、即着手キャンセルもできます。

これにより、隣接点への誤着手が、時間の切迫時でも安心して修正することが出来ます。

以上から、**着手トラブル防御機能**により、万全な対局が楽しめます。

スマホでもペン利用により、画面の拡大も無く、快適で万全な対局が楽しめます。

今回の革新的なスマホに特化した直感対局である一手5秒の**ひらめき対局**は、正にこの機能を基にして、日本囲碁規約完全対応と併せて、公式対局（一般者）として実現したものであります。

なお、3秒間の猶予時間が超過すると着手キャンセルになります。

着手キャンセルを行った際は、その猶予時間（3秒間）が考慮時間に加算されますので、充分にお気を付けください。

※ 終局前のパスにおける10秒間の猶予時間とカウントダウンも同様であり、残り1秒でも安心してパスを行うことが出来ますが、キャンセルすると考慮時間に加算されます。

また、タイムラグ時間は、対局ロビーの「設定」の検討パネルで「0.15秒～0.7秒」ま

で変更が可能です。

2. 対局条件付き自動セッティング

ネット棋院の対局は「対局条件付き自動セッティング」により、対局セッティング時における様々な煩わしさから解放されます。

始めて対局される方は、対局前に対局ロビーの「条件」ボタンを押して起動した画面から対局条件の初期値を確認され、必要により変更して下さい。

設定の対局条件により、対局セッティング時に確認画面は表示されても、既に相手方と合意していることから、急用など、緊急なことが無い限り、そのまま「確認」ボタンを押して問題ありません。

なお、公式対局室における確認画面は、特別に相手方の公開名を伏せてありますが、これは、実力決定の公式戦であり、相手方を見ての不快な対局拒否防止にあります。

更に、この機能により、他の対局室での観戦状態でも対局待ちが可能です。

対局ボタンを押し、他の対局室に移動して観戦しても、対局セッティング時は音声アナウンスと共に対局確認画面が起動します。

但し、ネット棋院の対局、観戦の画面はマルチ画面（4画面）ですので、観戦時での対局セッティングは、観戦画面を閉じないと観戦対局の着手音などにより、対局に支障がありますので、ご注意ください。

3. ネット棋院の終局処理

ネット棋院の対局は日本囲碁規約に完全対応（世界唯一）しておりますが、それは実対局そのままの終局処理にあります。

この終局処理は、両者による共同終局案の作成から始まり、いくつかのステップがありますが、各々で十分な作成時間が設けられ、案内メッセージもありますので、初めは参照されて操作を行ってください。

この厳格な終局処理により、意図的な悪操作を含め、いかなる場合でも、下記の4点により、必ず決着します。

A. 正常な勝敗結果

（一方が終局案を作成しないで相手方の終局案も否認する場合を含む）

B. 無勝負

両者が終局案を作成できない場合（ネット対局特有の止む無き措置）

C. 両負け（日本囲碁規約第13条―1）

両者の合意が得られず、かつ両者のいずれも対局再開を拒否する場合

D. 勝敗預かり

両者の合意が得られず、かつ、いずれも終局案を作成している場合

上記の D（勝敗預かり）は、棋譜三点セット（正規棋譜、白終局案、黒終局案）がネット棋院HPのコミュニティーに設置したネット棋院審査役会に転送され、後日の裁定にて、勝敗を決定します。

その際に、意図的な悪操作が確認された場合はペナルティーとして1日～7日の利用停止が課せられますが、これにより今後の再発防止を図るものであります。

なお、この審査役会裁定は日本囲碁規約に定められておりませんが、死活問題のみならず、様々な諸問題により、勝敗に関わり両者の合意が得られない場合は第三者決定が不可避であり、その為、事実上として、日本棋院の棋士対局は、既設の審査役会の決定を最終決定としております。

4. 公式対局室（正会員専用）の初対局に関して

初めの7局の勝敗は通常の昇降基準では無く、入会者の実力確認として、1勝敗毎に1階級が昇降しますので、ご承知置きください。

そこで、ネット棋院対局に慣れる練習として、初めの数回は昇降対象外の交遊対局室での対局をお勧めします。

交遊対局室に入室者がいない場合でも、対局ボタンを押して「対局待ち」の状態で、公式対局室の指定チャット等により、お相手をお誘いください。

指定チャットは、入室一覧のリストを選択した反転状態でチャットを行います。

ネット棋院の「対局条件付き自動セッティング」により、他の対局室での観戦状態でも対局待ちが可能です。